

FSA 130

STIHL



2 - 22 取扱説明書



目次

| | | |
|----|---|----|
| 1 | ごあいさつ..... | 2 |
| 2 | はじめに..... | 2 |
| 3 | 概要..... | 3 |
| 4 | 安全に関する重要事項..... | 4 |
| 5 | 刈払機の使用準備..... | 9 |
| 6 | 刈払機の組み立て..... | 10 |
| 7 | 刈払機の調整..... | 12 |
| 8 | 接続ケーブルプラグの挿入と抜き取り..... | 15 |
| 9 | 刈払機のオン/オフ切り替え..... | 15 |
| 10 | 刈払機のテスト..... | 15 |
| 11 | 刈払機の操作..... | 16 |
| 12 | 作業後..... | 17 |
| 13 | 運搬..... | 17 |
| 14 | 保管..... | 17 |
| 15 | 清掃..... | 18 |
| 16 | 整備..... | 18 |
| 17 | 修理..... | 18 |
| 18 | トラブルシューティング..... | 19 |
| 19 | 技術仕様..... | 19 |
| 20 | カッティングアタッチメント、デフレクター、 キャリングシステムの組み合わせ..... | 20 |
| 21 | スペアパーツおよびアクセサリ..... | 21 |
| 22 | 廃棄..... | 21 |
| 23 | EC 適合証明書..... | 22 |
| 24 | UKCA 適合宣言..... | 22 |

1 ごあいさつ

お客様各位

STIHL 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。弊社では、お客様のご要望を満たす高品質の製品を開発し、製造しております。弊社の製品は、極端な条件下においても高い信頼性が発揮されるよう設計されております。

STIHL 社は上質なサービスでも定評があります。弊社販売店は、お客様にご満足いただける助言や商品説明だけでなく、広範なサービスサポートも提供しております。

STIHL 社は天然資源を持続可能かつ責任ある方法で利用することに尽力しており、この方針を明示しています。本取扱説明書は、製品の長きに渡る耐用年数において、お客様が STIHL 製品を安全かつ環境に優しい方法で使用するのに役立つよう考えられています。

弊社をご愛顧いただきまして有難うございます。今後とも STIHL 製品をご愛用いただきますようお願い申し上げます。

N. S. Stihl

Dr. Nikolas Stihl

重要！初めて使用する前に取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、必要なときに参照できるように安全な場所に保管してください。

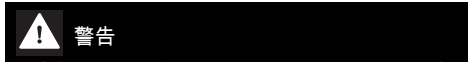
2 はじめに

2.1 適用文書

現地の安全規則が適用されます。

- ▶ この取扱説明書に加えて以下の文書を読み、内容を理解し、保管してください：
 - 使用するカッティングツールの取扱説明書と梱包材
 - 使用するキャリングシステムの取扱説明書
 - バッテリー STIHL AR の取扱説明書
 - 接続ケーブル付きベルトバッグ AP の取扱説明書
 - バッテリー STIHL AP の安全上の注意事項
 - 充電器 STIHL AL 101、301、301-4、500 の取扱説明書
 - STIHL バッテリーとバッテリー内蔵型製品の安全上の注意事項：www.stihl.com/safety-data-sheets

2.2 本書内の警告表示



警告

- 重傷または死亡の原因となるおそれのある危険を示しています。
 - ▶ 記載されている対策を講じると、重傷または死亡事故を防ぐことができます。



注記

- 物的損害の原因となるおそれのある危険を示しています。
 - ▶ 記載されている対策を講じると、物損事故を防ぐことができます。

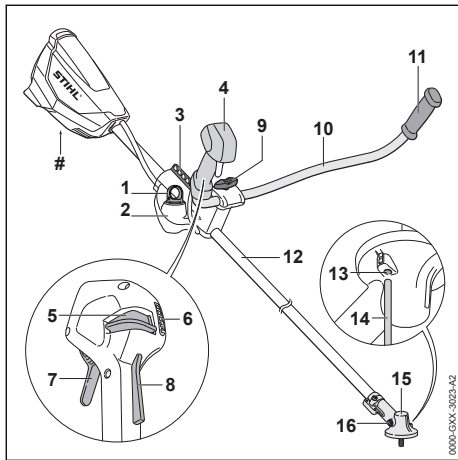
2.3 本文中の記号



この記号は、本取扱説明書の章を示します。

3 概要

3.1 刈払機



- 1 **プラグ**
ソケットを覆い、水分や埃から保護します。
- 2 **ソケット**
接続ケーブルプラグ差込口。
- 3 **キャリングストリップ**
キャリングシステムを引っ掛ける穴あきベルト
- 4 **コントロールハンドル**
刈払機の操作、保持、制御に使用します。
- 5 **保持レバー**
トリガースイッチのロックが解除されます(トリガースイッチロックアウトの操作も必要)。出力レベルの選択にも使用します。
- 6 **LED**
選択された出力レベルを表示します。
- 7 **トリガー**
刈払機のオン/オフを切り替えます。
- 8 **トリガーロックアウト**
トリガースイッチのロックが解除されます(保持レバーの操作も必要)。
- 9 **ウイングスクリュー**
ハンドルバーをハンドルサポートに固定します。
- 10 **ハンドルバー**
コントロールハンドルとハンドルをシャフトに接続します。
- 11 **ハンドル**
刈払機の保持と制御に使用します。
- 12 **シャフト**
全部品を連結します。

13 ストップピン用開口部

ストップピンを挿入します。

14 ストップピン

カッティングアタッチメント装着時にシャフトが回転するのを防ぎます。

15 ギアハウジング


ギアボックスが収められています。

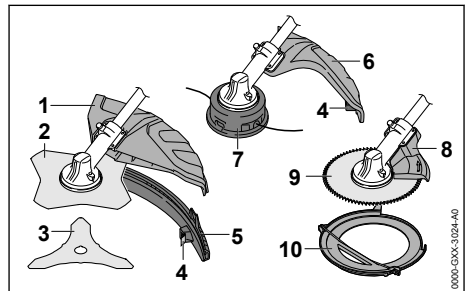
16 スクリュープラグ

STIHL ギアグリス注入口の栓。

機械番号付き銘板

3.2 デフレクターとカッティングアタッチメント

図は、デフレクターとカッティングアタッチメントの例を示しています。可能な組み合わせは、本書に記載されています、 20。



1 ユニバーサルデフレクター

ユーザーを飛散物やカッティングアタッチメントとの接触から守ります。

2 草刈ブレード

芝草や雑草を刈払いします。

3 ブラシナイフ

下草を刈払いします。

4 ライン制限ブレード

カッティングラインを適切な長さに切断します。

5 スカーフ

草刈ヘッドに使用するためにユニバーサルデフレクターを延長します。

6 草刈ヘッド用デフレクター

ユーザーを飛散物や草刈ヘッドとの接触から守ります。

7 草刈ヘッド

草刈ヘッドにはカッティングラインが収められています。

8 リミットストップ


切断作業中にユーザーを飛散する異物やサーキュラソーブレードとの接触から保護し、刈払機を樹木に接触させて支えます。


9 サークュラソーブレード 低木と樹木を切断します。


10 運搬用ガード 金属製カッティングアタッチメントに接触しないようユーザーを保護します。

3.3 記号


刈払機とデフレクターに表示されている記号の意味：


 保持レバーがこの位置のときは、トリガーのロックが解除されます。


 保持レバーがこの位置のときは、トリガーがロックされます。

 この記号は、カッティングアタッチメントの回転方向を示しています。

max Ø XXX この記号は、カッティングアタッチメントの mm 単位の最大径を示しています。

 この記号は、カッティングアタッチメントの定格回転数を示しています。

 LWA 製品が発する騒音を比較できるように、指令 2000/14/EC に準拠して決定された dB(A) 単位の音響出力レベル保証値。

 本製品は、家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。


4 安全に関する重要事項


4.1 警告標示

4.1.1 刈払機


刈払機の警告標示の意味


 安全上の注意事項を遵守し、必要な予防措置を講じてください。


 取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解ください。取扱説明書は必ず保管してください。


 保護メガネを着用してください。作業中に落下物による危険がある場合：ヘルメットを着用してください。


 安全靴を着用してください。

 保護手袋を着用してください。

 キックバックに関する安全上の注意事項を遵守し、必要な予防措置を講じてください。

 飛散物に関する安全上の注意事項を遵守し、必要な予防措置を講じてください。


 安全な距離を維持してください。


 休憩、輸送、保管、整備、修理中は、接続ケーブルのプラグをソケットから抜いてください。


 高温の面に触れないでください。


4.1.2 草刈ヘッド用デフレクター


草刈ヘッド用デフレクターに表示されている警告標示とラベルの意味：

 このデフレクターは草刈ヘッドに使用してください。

 このデフレクターは草刈ブレードには使用しないでください。


 このデフレクターはブラッシュナイフには使用しないでください。


 このデフレクターはシュレッダーブレードには使用しないでください。

 このデフレクターはサーキュラソーブレードには使用しないでください。

4.1.3 ユニバーサルデフレクターとスカート ユニバーサルデフレクター

ユニバーサルデフレクター上の警告標示の意味：
このデフレクターはスカートなしに草刈ヘッドに使用しないでください。

 このデフレクターは草刈ブレードに使用してください。

 このデフレクターはブラッシュナイフに使用してください。



このデフレクターはシュレッダーブレードに使用してください。



このデフレクターはサーキュラソーブレードには使用しないでください。

スカート

スカート上の警告標示の意味：



草刈ヘッドにはユニバーサルデフレクターをスカートとライン制限ブレードと共に使用してください。

4.2 用途

STIHL FSA 130 刈払機は、以下の目的用に設計されています：

- 草刈ヘッド使用時：芝草の刈払い
- 草刈ブレード使用時：芝草と雑草の刈払い
- ブラシユナイフ使用時：幹の径が 20 mm までの低木の切断
- サーキュラソーブレード使用時：幹の径が 40 mm までの低木や樹木の切断

この刈払機は雨天でも使用することができます。

この刈払機の電源は、STIHL AP バッテリーと「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」の組み合わせが、STIHL AR バッテリーから供給されます。

▲ 警告

- STIHL 社がこの刈払機用として明確に承認していないバッテリーは、火災または爆発を引き起こすおそれがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ この刈払機の電源は、STIHL AP バッテリーと「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」の組み合わせが、STIHL AR バッテリーから供給されます。
- 設計された目的以外で刈払機またはバッテリーを使用すると、重傷または致命傷や物的損害の原因になるおそれがあります。
 - ▶ 刈払機は、本取扱説明書に従って使用してください。
 - ▶ バッテリーは、本取扱説明書の「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」または STIHL AR バッテリーの説明に従って使用してください。

4.3 作業者

▲ 警告

- 指導を受けていない使用者は、刈払機の使用に伴う危険の認識や評価ができません。使用者

または他の人員が重傷または致命傷を負うおそれがあります。



▶ 製品をお使いになる際は、取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解ください。また本書は必ず保管してください。

- ▶ 刈払機を譲渡する場合：必ず本取扱説明書を一緒に手渡してください。
- ▶ 使用者が以下の必要条件を満たしていることを確認してください：
 - 使用者は十分な休息をとっている。
 - 使用者は、刈払機を操作するために適切な身体的および精神的状態である必要があります。使用者の身体的、感覚的、または精神的機能が制限されている場合、その使用者は、責任者の監督の下で、または責任者による指導どおりにのみ作業することができます。
 - 使用者は刈払機の使用に伴う危険を認識し、評価することができる。
 - 使用者は法定年齢に達しているか、国の規則や規制に従った監督下での職業訓練を受けていなければなりません。
 - 使用者は、初めて刈払機を使用する前に、STIHL サービス店、またはその他の経験豊富な使用者から、指導を受けてください。
 - 使用者はアルコールまたは薬物の影響を受けてはなりません。
- ▶ ご不明な点があれば：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

4.4 衣服と装備

▲ 警告

- 操作中、長髪は刈払機に吸い込まれることがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 長髪は結び、肩よりも高い位置でまとめてください。
- 作業中は、物体が高速で飛散することがあります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 確実にフィットする保護メガネを着用してください。欧州基準 EN 166 または日本の基準に従って試験され、ラベルが付けられている適切な保護メガネが販売されています。
 - ▶ フェイスシールドを着用してください。
 - ▶ 丈夫な素材の長ズボンを着用してください。
- 落下物で頭部を負傷するおそれがあります。
 - ▶ 作業中に物が落下する危険が高いときは、ヘルメットを着用してください。



- 作業中は、粉塵が巻き上げられることがあります。巻き上げられた粉塵は気道を傷付け、アレルギー反応を引き起こすおそれがあります。
 - ▶ 粉塵が発生するときは：防塵マスクを着用してください。
- 不適切な衣服は樹木、茂み、または刈払機に絡まる可能性があります。適切な衣服を着用しないと、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 体にぴったりフィットする衣服を着用してください。
 - ▶ スカーフや装身具は外してください。
- 作業中、回転するカッティングアタッチメントに接触するおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 頑丈な靴を着用してください。



▶ 金属製カッティングアタッチメントを使用している場合は、爪先に鋼板の入った安全靴を着用してください。

▶ 丈夫な素材の長ズボンを着用してください。

- 清掃や整備を行っている間や、カッティングアタッチメントの着脱時には、カッティングアタッチメントやライン制限ブレードに接触する危険があります。それにより負傷するおそれがあります。



▶ 耐切創手袋を着用してください。

- 不適切な履物を履くと、滑るおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 靴底が滑らず、頑強な作りの、足が露出しない靴を着用してください。

4.5 作業エリアと周辺環境

▲ 警告

- 見物人、子供、動物は、刈払機または飛散物の危険を認識していません。それにより見物人、子供、動物が重傷を負ったり、物的損害につながるおそれがあります。



▶ 見物人、子供、動物は作業エリアから 15 m の範囲内に入らせないでください。

- ▶ 器物から 15 m の間隔を維持してください。
- ▶ 刈払機を無人のまま放置しないでください。
- ▶ 子供が刈払機で遊ばないように注意してください。

- 刈払機の電気部品から火花が発生することがあります。引火や爆発が起きやすい環境下では、火花によって火災や爆発が起きることがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。

- ▶ 引火または爆発が起きやすい環境下では、作業しないでください。

4.6 安全に関する条件

4.6.1 刈払機

刈払機は、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- 刈払機が損傷していない。
- 刈払機が清潔な状態になっている。
- 操作部が正常に作動し、改造されていない。
- 本書内で推奨されているカッティングアタッチメントとデフレクターの組み合わせが装着されている。
- カッティングアタッチメントとデフレクターが適切に装着されている。
- 本刈払機用の STIHL 純正アクセサリーが装着されている。
- アクセサリーが適切に取り付けられている。

▲ 警告

- 安全な状態にない場合、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。

- ▶ 刈払機は必ず損傷のない状態で使用してください。
- ▶ 刈払機が汚れた場合：清掃してください。
- ▶ 刈払機は絶対に改造しないでください。例外：本書内で推奨されているカッティングアタッチメントとデフレクターの組み合わせの装着。
- ▶ 操作部が正常に作動しない場合、刈払機を使用しないでください。
- ▶ 必ず本刈払機用に設計された STIHL 純正アクセサリーを取り付けてください。
- ▶ カッティングアタッチメントとデフレクターは、本取扱説明書に従って装着してください。
- ▶ アクセサリーは、本取扱説明書またはアクセサリーに付属する取扱説明書に従って装着してください。
- ▶ 刈払機の開口部には絶対に物を差し込まないでください。
- ▶ 摩耗するか、損傷したラベルは交換してください。
- ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

4.6.2 デフレクター

デフレクターは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- デフレクターが損傷していない。
- ライン制限ブレードとスカートを使用している場合：ライン制限ブレードとスカートが適切に取り付けられている。

▲ 警告

- コンポーネントが安全要件を満たしていない場合は、正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ デフレクターは必ず損傷のない状態で使用してください。
 - ▶ ライン制限ブレードとスカートを使用している場合：ライン制限ブレードとスカートを適切に取り付けて作業を行ってください。
 - ▶ ご不明な点があれば：最寄りの STIHL サービス店にご連絡ください。

4.6.3 草刈ヘッド

草刈ヘッドは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- 草刈ヘッドが損傷していない。
- 草刈ヘッドが詰まっていない。
- カuttingラインが適切に取り付けられている。
- 摩耗限界を超えていない。

▲ 警告

- 安全な状態にないと、草刈ヘッドの部品やCuttingラインが外れ、高速で飛散するおそれがあります。それにより重傷を負うことがあります。
 - ▶ 草刈ヘッドは必ず損傷のない状態で使用してください。
 - ▶ 絶対にナイロン製Cuttingラインを金属製部品で代用しないでください。
 - ▶ 摩耗限界を超えて使用しないでください。
 - ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

4.6.4 金属製Cuttingアタッチメント

金属製Cuttingアタッチメントは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- 金属製Cuttingアタッチメントと取り付け用部品が損傷していない。
- 金属製Cuttingアタッチメントが曲がっていない。
- 金属製Cuttingアタッチメントが適切に装着されている。
- 金属製Cuttingアタッチメントが適切に目立てされている。
- 金属製Cuttingアタッチメントの刃先にバリがない。
- 摩耗限界を超えていない。
- STIHL 製以外の金属製Cuttingアタッチメントを使用するときは、STIHL 社が承認した最大の金属製Cuttingアタッチメントと比較して重量、厚み、直径がそれを上回っている製品、形状が異なっている製品、品質が低い製品は使用しないでください。

▲ 警告

- 安全な状態にないと、金属製Cuttingアタッチメントの部品が外れ、高速で飛散するおそれがあります。それにより重傷を負うことがあります。
 - ▶ 金属製Cuttingアタッチメントまたは取り付け用部品が損傷した状態では、絶対に作業を行わないでください。
 - ▶ 金属製Cuttingアタッチメントは適切に目立てしてください。
 - ▶ 刃先のバリはヤスリで取り除いてください。
 - ▶ 金属製Cuttingアタッチメントのバランス作業は、STIHL サービス店に依頼してください。
 - ▶ 摩耗限界を超えて使用しないでください。
 - ▶ 金属製Cuttingアタッチメントは、取扱説明書に記載されたとおりに使用してください。
 - ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

4.7 作業時

▲ 警告

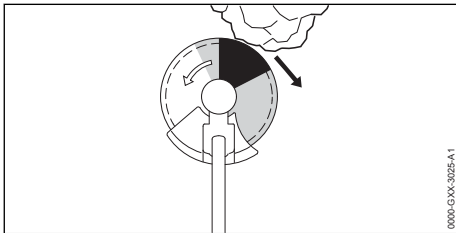
- 特定の条件下では、使用者は作業に集中できなくなることがあります。それによりつまずいたり、転倒したり、重傷を負ったりするおそれがあります。
 - ▶ 落ち着いて慎重に作業を進めてください。
 - ▶ 明るさと視界が不十分な場合は、刈払機を使用しないでください。
 - ▶ 刈払機は一人で操作してください。
 - ▶ Cuttingアタッチメントは地面に近い位置で使用してください。
 - ▶ 障害物に注意してください。
 - ▶ 地面に立ち、バランスを保ちます。
 - ▶ 疲れを感じたときは、休憩をとってください。
- 回転するCuttingアタッチメントで負傷することがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 回転するCuttingアタッチメントに触れないでください。
 - ▶ Cuttingアタッチメントに障害物が挟まった場合は、刈払機の電源を切り、接続ケーブルのプラグをソケットから抜き取ります。必ずその状態にしてから障害物を取り除いてください。
- 操作中に刈払機の動作が変化するか、異常を感じたときは、機械がもはや安全な状態にない可能性があります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。

- ▶ 作業を中止し、接続ケーブルのプラグをソケットから引き抜き、STIHL サービス店にご連絡ください。
- 作業中、刈払機は振動することがあります。
 - ▶ 手袋を着用してください。



- ▶ 休憩を取ってください。
- ▶ 血行障害の兆候が現れた場合、医師の診察を受けてください。
- 作業中にカッティングアタッチメントが異物と接触すると、異物やその破片が高速で飛散するおそれがあります。負傷したり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ 作業エリアから異物を取り除いてください。
- 回転する金属製カッティングアタッチメントが硬い物体に接触すると、火花が発生し、カッティングアタッチメントが損傷するおそれがあります。火花によって周囲の可燃物が引火することがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ 可燃物が周囲にある環境下では刈払機を使用しないでください。
 - ▶ カッティングアタッチメントが安全な状態にあるか確認してください。
- トリガーを放しても、カッティングアタッチメントはしばらく回転し続ける点に注意してください。それにより重傷を負うことがあります。
 - ▶ カッティングアタッチメントの回転が完全に止まるまで待ってください。
- 緊急時は使用者がパニックに陥り、キャリングシステムを背中から降ろさないことがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ キャリングシステムの降ろし方を練習してください。

4.8 反発力



キックバックは、以下の理由で生じることがあります：

- 回転する金属製カッティングアタッチメントの影付きの範囲または黒の範囲が硬い物体に接触し、急ブレーキが掛かった。

- 回転する金属製カッティングアタッチメントが切り口内に挟まった。

キックバックの危険は、黒の範囲で最大になります。

▲ 警告

- 上記の状況が生じると、カッティングアタッチメントは突然減速するか、回転が停止し、右側またはユーザーの方向（黒の矢印方向）に飛ばされるおそれがあります。ユーザーは刈払機の制御を失うことがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 刈払機を両手で確実に保持してください。
 - ▶ 本取扱説明書に記載されている推奨作業方法に従ってください。
 - ▶ 黒の範囲を使用して切断しないでください。
 - ▶ 本書内で推奨されているカッティングアタッチメント、デフレクター、キャリングシステムの組み合わせを使用してください。
 - ▶ 金属製カッティングアタッチメントは適切に目立てください。
 - ▶ 常にモーターを最高速で動作させて切断してください。

4.9 運搬

▲ 警告

- ギアボックスは作業中に熱くなることがあります。火傷を負う危険性があります。
 - ▶ 高温のギアボックスに触らないでください。



- 刈払機は運搬中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。その結果、負傷したり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ 保持レバーを⊖マークの位置まで押します。



- ▶ 接続ケーブルのプラグをソケットから引き抜いてください。
- ▶ 金属製カッティングアタッチメントが装着されている場合：運搬用ガードを取り付けてください。
- ▶ 転倒したり、ずれたりしないよう、刈払機を固定ストラップまたはネットで固定します。

4.10 保管

▲ 警告

- 子供は刈払機の危険の認識や認知ができず、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 保持レバーを⊖マークの位置まで動かします。



▶ 接続ケーブルのプラグをソケットから引き抜きます。

- ▶ 金属製カッティングアタッチメントが装着されている場合は、運搬用ガードを取り付けてください。
- ▶ 刈払機は子供の手の届かないところに保管してください。

- 湿気によって刈払機の電気接点や金属製部品が腐食することがあります。それにより刈払機が損傷することがあります。

▶ 保持レバーを⊖マークの位置まで動かします。



▶ 接続ケーブルのプラグをソケットから引き抜きます。

- ▶ 刈払機は、清潔な乾いた状態で保管してください。
- ▶ プラグをソケットに差し込みます。

4.11 清掃、整備、修理

▲ 警告

- 清掃、整備、修理時に接続ケーブルのプラグを差し込んだままにしておくと、刈払機が偶発的に始動するおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。

▶ 保持レバーを⊖マークの位置まで動かします。



▶ 接続ケーブルのプラグをソケットから引き抜きます。

- ギアハウジングは作業中に高温になることがあります。火傷を負う危険性があります。

▶ 高温のギアハウジングには触れないでください。



- 刺激の強い洗浄剤、高圧洗浄機、尖った物体は、刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメントを損傷させるおそれがあります。刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメントを適切に清掃しないと、コンポーネントが正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。それにより重傷を負うことがあります。
- ▶ 刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメントは、本取扱説明書に従って清掃してください。

- 刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメントを適切な整備や修理を行わないと、コンポーネントが正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。その

結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。

- ▶ 刈払機やデフレクターの整備や修理を試みないでください。
- ▶ 刈払機やデフレクターに整備や修理が必要になったときは、STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
- ▶ カッティングアタッチメントは、同梱されている取扱説明書またはパッケージに記載されている指示に従って整備してください。

- カッティングアタッチメントの清掃または整備中に、鋭利な刃先でケガをする場合があります。それにより負傷するおそれがあります。













▶ 耐切削手袋を着用してください。






5 刈払機の使用準備

5.1 刈払機の使用準備

毎回作業を開始する前に、以下の手順を踏む必要があります：

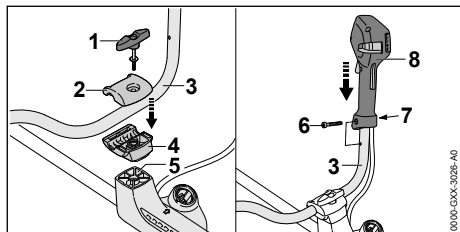
- ▶ 以下の部品が安全な状態にあることを確認してください：
 - 刈払機、 4.6.1。
 - デフレクター、 4.6.2。
 - 草刈ヘッドまたはメタル製カッティングブレード、 4.6.3 または  4.6.4。
 - バッテリー(バッテリー STIHL AR の取扱説明書または接続ケーブル付きベルトバッグ AP の取扱説明書参照)。
- ▶ バッテリー STIHL AR の取扱説明書または接続ケーブル付きベルトバッグ AP の取扱説明書の記載通りにバッテリーを点検してください。
- ▶ 充電器 STIHL AL 101、301、301-4、500 の取扱説明書の記載通りにバッテリーをフル充電してください。
- ▶ 刈払機を清掃してください、 15.1。
- ▶ バイクハンドルを取り付けてください、 6.1。
- ▶ カッティングブレード、デフレクター、キャリングシステムの組み合わせ、 20。
- ▶ デフレクターを取り付けてください、 6.2.1。
- ▶ ユニバーサルデフレクターを草刈ヘッドと併用する場合は：スカートとライン制限ブレードを取り付けてください、 6.3.1。
- ▶ 草刈ヘッドまたはメタル製カッティングブレードを取り付けてください、 6.4.1 または  6.5.1。
- ▶ バッテリー STIHL AR、キャリングシステムまたは接続ケーブル付きベルトバッグ AP を取り付け、調整してください、 7。

- ▶ 刈払機のバランスを調整してください、 7.5。
- ▶ バイクハンドルを調整してください、 7.4。
- ▶ 操作部をテストしてください、 10.1。
- ▶ この手順を踏むことができない場合：刈払機の使用を中止して、STIHL サービス店までご連絡ください。

6 刈払機の組み立て

6.1 バイクハンドルの取り付け

- ▶ 刈払機の電源を切り、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。



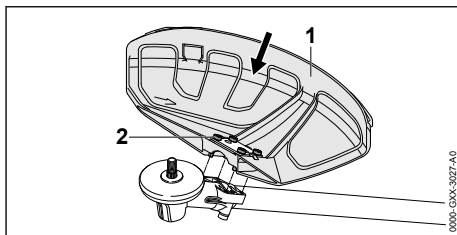
- ▶ ウイングスクリュー (1) を取り外します。
- ▶ 上部クランプモールディング (2) を取り外します。
- ▶ ハンドルバー (3) を下部クランプモールディング (4) に載せます。
- ▶ 上部クランプモールディング (2) を取り付けます。
- ▶ ウイングスクリュー (1) を差し込みます。
- ▶ ハンドルバー (3) を上方に回します。
- ▶ ウイングスクリュー (1) をしっかりと締め付けます。
- ▶ スクリュー (6) を取り外します。
- ▶ コントロールハンドル (7) をハンドルバー (3) に位置決めします。その際は、トリガーをギアヘッドの方向に向け、コントロールハンドルの穴とハンドルバーの穴を揃えます。
- ▶ ナット (7) を取り付けます。
- ▶ スクリュー (6) を差し込み、しっかりと締め付けます。

ハンドルバー (3) を再び取り外す必要はありません。

6.2 デフレクターの取り付けと取り外し

6.2.1 デフレクターの取り付け

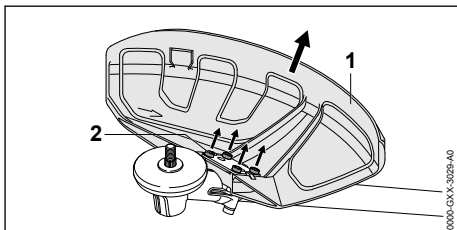
- ▶ 刈払機の電源を切り、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。



- ▶ デフレクター (1) をギアハウジング上のガイドに止まるまで押し込みます。
- ▶ スクリュー (2) を差し込み、しっかりと締め付けます。

6.2.2 デフレクターの取り外し

- ▶ 刈払機の電源を切り、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。

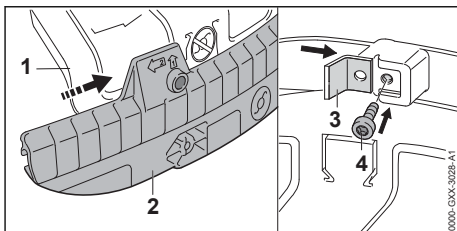


- ▶ スクリュー (2) を取り外します。
- ▶ デフレクター (1) を引き外します。

6.3 スカートの取り付けと取り外し

6.3.1 スカートの取り付け

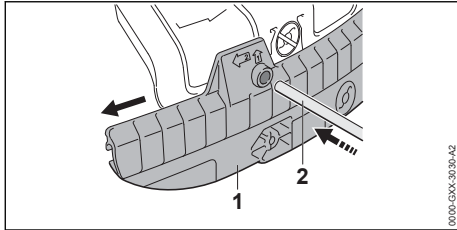
- ▶ 刈払機の電源を切り、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。



- ▶ スカート (2) のガイドスロットをスライドさせてデフレクター (1) に取り付けます - 所定の位置にはめてください。
- ▶ ライン制限ブレード (3) をスカート (2) のスロットに押し込みます。
- ▶ スクリュー (4) を差し込み、しっかりと締め付けます。

6.3.2 スカートの取り外し

- ▶ 刈払機の電源を切り、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。



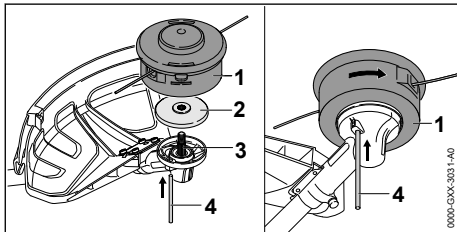
- ▶ ストップピン (2) をスカート (1) の穴に差し込みます。
- ▶ ストップピン (2) を使用してスカート (1) をスライドさせ、デフレクターから取り外します。

ライン制限ブレードをスカート (1) に残しておくことができます。

6.4 草刈ヘッドの取り付けと取り外し

6.4.1 草刈ヘッドの取り付け

- ▶ 刈払機の電源を切り、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。



- ▶ 小径側を表に向けてスラストプレート (2) をシャフト (3) に通します。
- ▶ 草刈ヘッド (1) をシャフト (3) に取り付け、手で反時計回りにまわします。
- ▶ ストップピン (4) を穴のリミットストップの位置まで差し込み、押したまま保持します。
- ▶ 草刈ヘッド (1) を反時計回りにまわし、ストップピン (4) を所定の位置にはめ込みます。これでシャフト (3) が固定されます。
- ▶ 草刈ヘッド (1) を手でしっかりと締め付けます。
- ▶ ストップピン (4) を取り外します。

6.4.2 草刈ヘッドの取り外し

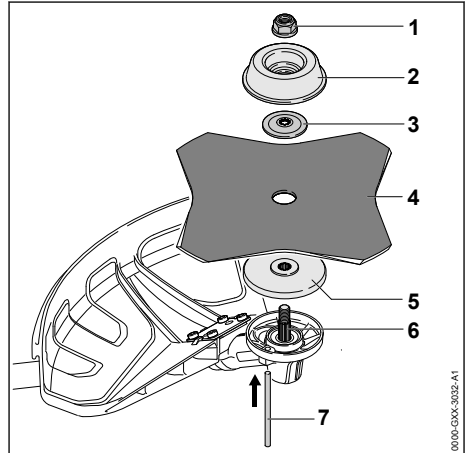
- ▶ 刈払機の電源を切り、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。
- ▶ ストップピンを穴に止まるまで差し込み、押したまま保持します。
- ▶ 草刈ヘッド (3) を回転させ、ストップピンを所定の位置にはめ込みます。これでシャフトが固定されます。
- ▶ 草刈ヘッドを時計回りに回転させて外します。
- ▶ スラストプレートを取り外します。

- ▶ ストップピンを取り外します。

6.5 金属製カッティングアタッチメントの取り付けと取り外し

6.5.1 金属製カッティングアタッチメントの取り付け

- ▶ 刈払機の電源を切り、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。



- ▶ 小径側を表に向けてスラストプレート (5) をシャフト (6) に取り付けます。
- ▶ 金属製カッティングアタッチメント (4) をスラストプレート (5) に載せます。サーキュラソーブレードまたは刃先が 4 枚を超える草刈ブレードを取り付けている場合：刃先をデフレクターの矢印と同じ方向に向けてください。
- ▶ せり上がった側を表に向けてスラストワッシャー (3) を金属製カッティングアタッチメントに取り付けます。
- ▶ 閉じている側を表に向けてライダープレート (2) をスラストワッシャー (3) に取り付けます。
- ▶ ストップピン (7) を穴に止まるまで差し込み、押したまま保持します。
- ▶ 金属製カッティングアタッチメント (4) を時計回りに回転させ、ストップピン (7) を所定の位置にはめ込みます。これでシャフトが固定されます。
- ▶ ナット (1) を取り付け、反時計回りに確実に締め付けます。
- ▶ ストップピン (7) を取り外します。

6.5.2 金属製カッティングアタッチメントの取り外し

- ▶ 刈払機の電源を切り、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。
- ▶ ストップピンを穴に止まるまで差し込み、押したまま保持します。

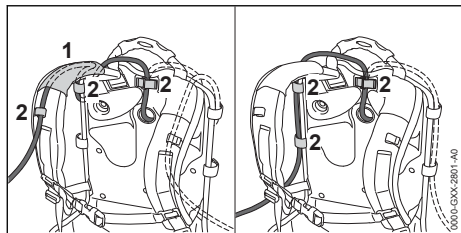
- ▶ 金属製カッティングアタッチメントを時計回りに回転させ、ストップピンを所定の位置にはめ込みます。
これでシャフトが固定されます。
- ▶ 取り付けナットを時計回りに回転させて取り外します。
- ▶ ライダープレート、スラストワッシャー、金属製カッティングアタッチメント、スラストプレートを取り外します。
- ▶ ストップピンを取り外します。

7 刈払機の調整

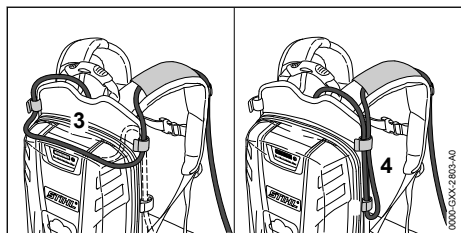
7.1 STIHL AR バッテリーの使用

7.1.1 接続ケーブルの取り付けと調整

接続ケーブルは、ユーザーの体格と用途に合うように取り付け、調整することができます。



接続ケーブルは、ハーネスのガイド (1) とファスナー (2) を使用するか、バックプレート側面のファスナー (2) を使用して定位置に固定することができます。

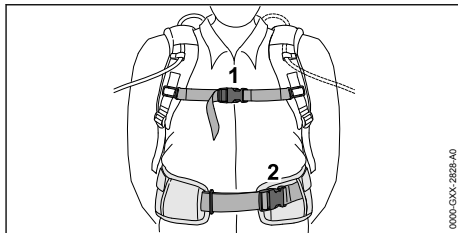


接続ケーブルの長さは、バックプレート上でループ (3) 状に配置するか、片側でループ (4) 状に配置することで調整が可能です。

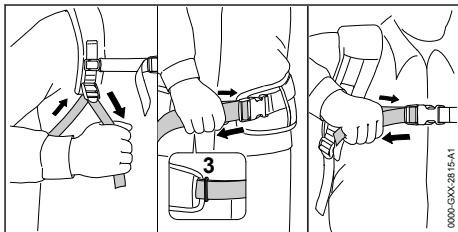
- ▶ 接続ケーブルは、作業の妨げにならないようにできるだけ短く配置してください。

7.1.2 キャリングシステムの取り付けと調整

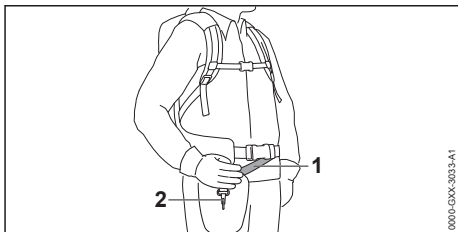
- ▶ バッテリーを背負います。



- ▶ 腰ベルトのバックル (2) を留めます。
- ▶ 胸ベルトのバックル (1) を留めます。



- ▶ 腰ベルトが腰にたるみなく接触し、バックパッドが背中に密着するようになるまでストラップを締め付けます。
- ▶ 腰ベルトの端をループ (3) に通します。
- ▶ 腰パッドを同梱されている取扱説明書に従って取り付けます。

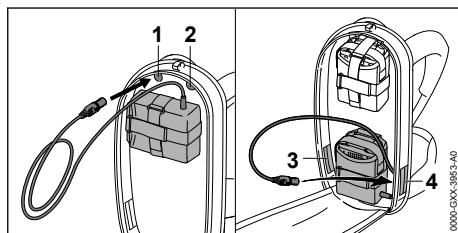


- ▶ カラビナ (2) が右腰から手幅分下がった位置に来るようにストラップ (1) を調整します。

7.2 運搬システムの使用

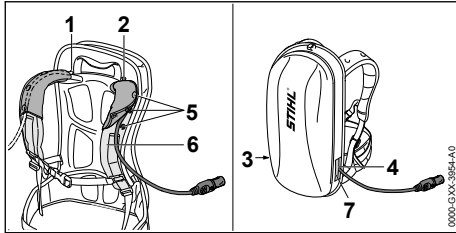
7.2.1 接続ケーブルの取り付けと調整

接続ケーブルは、ユーザーの体格と用途に合うように取り付け、調整することができます。



接続ケーブルは、次の開口部に通して取り付けることができます：

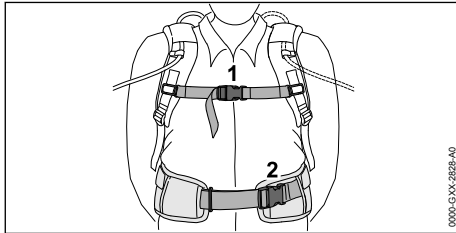
- 左上開口部 (1)
- 右上開口部 (2)
- 左下開口部 (3)
- 右下開口部 (4)



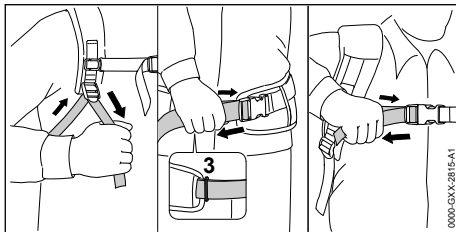
- ▶ 接続ケーブルを左上開口部 (1) または右上開口部 (2) に通して取り付けた場合：
 - ▶ プレススタッド (5) を開きます。
 - ▶ 接続ケーブルを肩掛けベルト (6) の上に配置します。
 - ▶ プレススタッド (5) を閉じます。
- ▶ 接続ケーブルを左下開口部 (3) または右下開口部 (4) に通して取り付けた場合：使用する開口部 (3 または 4) を面ファスナー (7) でシールします。
- ▶ 接続ケーブルは、作業の妨げにならないようにできるだけ短く配置してください。

7.2.2 キャリングシステムの取り付けと調整

- ▶ バッテリーを背負います。

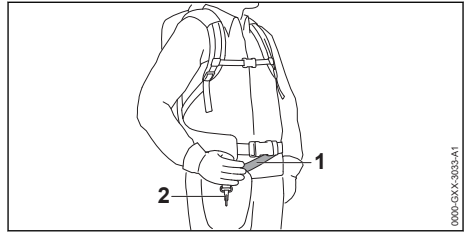


- ▶ 腰ベルトのバックル (2) を留めます。
- ▶ 胸ベルトのバックル (1) を留めます。



- ▶ 腰ベルトが腰にたるみなく接触し、バックパッドが背中に密着するようになるまでストラップを締め付けます。

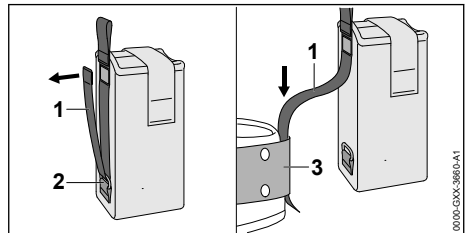
- ▶ 腰ベルトの端をループ (3) に通します。
- ▶ 腰パッドを同梱されている取扱説明書に従って取り付けます。



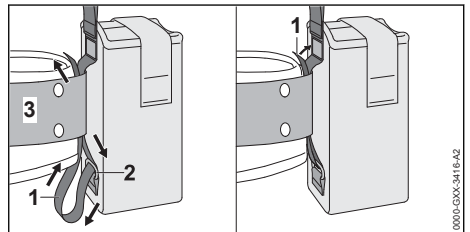
- ▶ カラбина (2) が右腰から手幅分下がった位置に来るようにストラップ (1) を調整します。

7.3 接続ケーブル付き AP ベルトバッグの使用

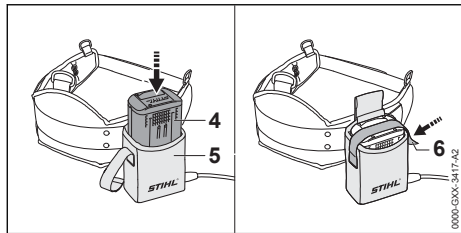
7.3.1 「接続ケーブル付きベルトバッグ AP」の取り付け



- ▶ ストラップ (1) のベルクロ®ファスナーを開き、ストラップ (1) をリング (2) から引き出します。
- ▶ ストラップ (1) をベルト (3) に通します。



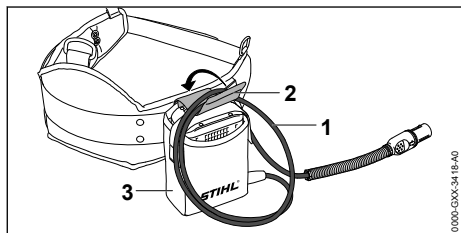
- ▶ ストラップ (1) を再びリング (2) とベルト (3) に通します。
- ▶ ストラップ (1) のベルクロ®ファスナーを固定します。



- ▶ バッテリー (4) を押し、ベルトバッグ (5) の最も奥まで挿入します。短いピープ音が鳴ります。
- ▶ バッテリー (4) をベルク口®ファスナー (6) で固定します。

7.3.2 接続ケーブルの調整

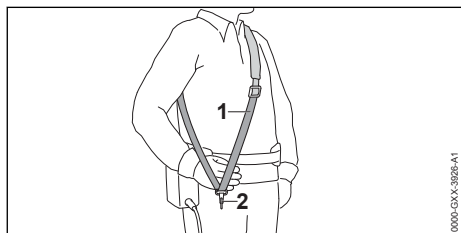
接続ケーブルは、ユーザーの体格と用途に合うように取り付け、調整することができます。



接続ケーブルの長さは、ループ (1) 状に配置するか、ファスナー (2) でベルトバッグ (3) に固定することで調整が可能です。

- ▶ 接続ケーブルは、作業の妨げにならないようにできるだけ短く配置してください。

7.3.3 キャリングシステムの取り付けと調整



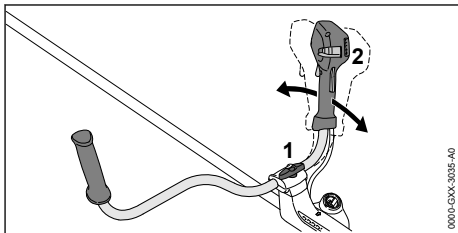
- ▶ 肩掛けベルト (1) を肩に掛けます。
- ▶ カラбина (2) が右腰から手幅分下がった位置に来るように肩掛けベルト (1) を調整します。

7.4 バイクハンドルの調整

バイクハンドルは、使用者の身長や手の長さに合わせてさまざまな位置に設定できます。

- ▶ 刈払機の電源を切り、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。

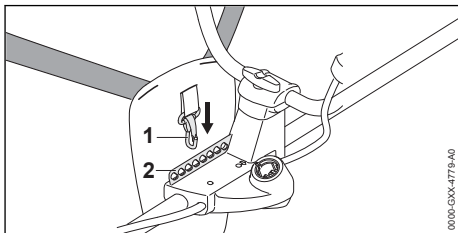
- ▶ 刈払機をキャリングストリップからキャリングシステムのカラбинаに引っ掛けます。



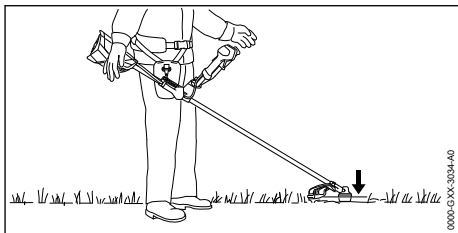
- ▶ ウイングスクリュー (1) を緩めます。
- ▶ バイクハンドル (2) を回転させ、作業がしやすい位置に合わせます。
- ▶ ウイングスクリュー (1) を確実に締め付けます。

7.5 刈払機のバランスの取り方

- ▶ 刈払機の電源を切り、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。



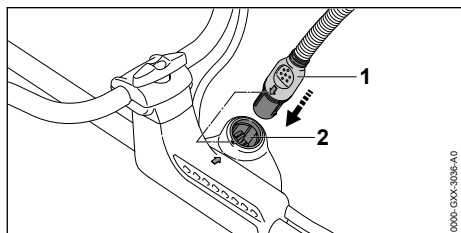
- ▶ キャリングストリップ (2) をカラбина (1) に引っ掛けます。



- ▶ 刈払機から手を離し、バランス状態をチェックします。適正ならば、カッティングアタッチメントは地面と軽く接触します。
- ▶ 刈払機のバランスが適正でないときは：キャリングストリップ (2) 上のカラбина (1) の取り付け位置を変更し、バランスを再点検してください。

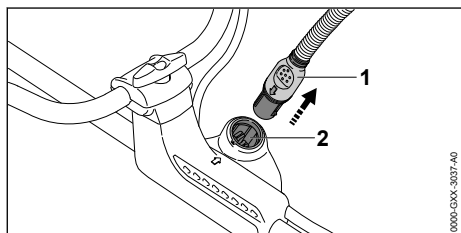
8 接続ケーブルプラグの挿入と抜き取り

8.1 接続ケーブルプラグの挿入



- ▶ 側面の矢印をソケット (2) の矢印に合わせ、接続ケーブルのプラグ (1) を手に持ちます。
- ▶ 接続ケーブルのプラグ (1) をソケット (2) に差し込みます。
プラグ (1) が定位置にはまります。

8.2 接続ケーブルプラグの抜き取り

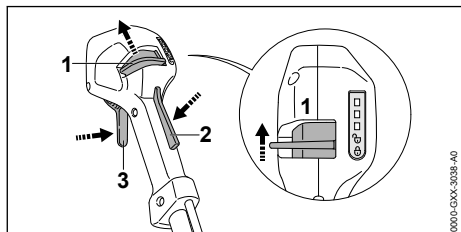


- ▶ 接続ケーブルのプラグ (1) をつかみます。
- ▶ プラグ (1) をソケット (2) から抜きます。

9 刈払機のオン/オフ切り替え

9.1 電源を入れる

- ▶ 右手でコントロールハンドルを握り、刈払機を保持します。コントロールハンドルに親指をかけてください。
- ▶ 左手で左ハンドルを握り、刈払機を保持します。左ハンドルに親指をかけてください。



- ▶ 保持レバー (1) を親指でⓄマークの位置まで押します。

- ▶ トリガーロックアウト (2) を手で押したまま保持します。
- ▶ トリガー (3) を人差し指で引いたまま保持します。
モーターが加速し、カッティングアタッチメントが回転します。

カッティングアタッチメントの速度は、トリガー (3) によって制御されます。

刈払機は使用されているカッティングアタッチメントを検知し、最大回転数を自動調整します。

9.2 電源を切る

- ▶ トリガーとトリガーロックアウトを同時に放します。
- ▶ カッティングアタッチメントが完全に停止するまで待ちます。
- ▶ カッティングアタッチメントが回転し続ける場合：接続ケーブルのプラグをソケットから抜き取り、STIHL サービス店にご連絡ください。刈払機が故障しています。
- ▶ 保持レバーをⓄマークの位置まで押します。

10 刈払機のテスト

10.1 操作部の点検

トリガーロックアウトとトリガー

- ▶ 接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。
- ▶ 保持レバーをⓄマークの位置まで押します。
- ▶ ロックアウトレバーを押さずにトリガーを引いてみます。
- ▶ トリガーを引くことができる場合：刈払機を使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。
保持レバーまたはトリガーロックアウトが故障しています。
- ▶ 保持レバーをⓄマークの位置まで押します。
- ▶ トリガーロックアウトレバーを押したまま保持します。
- ▶ トリガーを引きます。
- ▶ トリガーとトリガーロックアウトレバーを放します。
- ▶ トリガーまたはトリガーロックアウトが円滑に動かないか、アイドル位置に戻らない場合：刈払機を使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。
トリガーまたはトリガーロックアウトが故障しています。

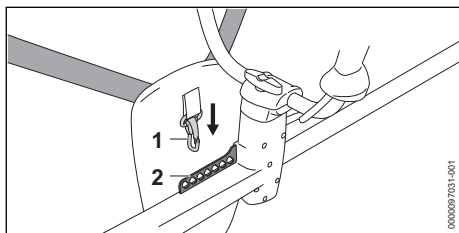
刈払機の電源を入れる

- ▶ 接続ケーブルのプラグを差し込みます。
- ▶ トリガーロックアウトレバーを押したまま保持します。

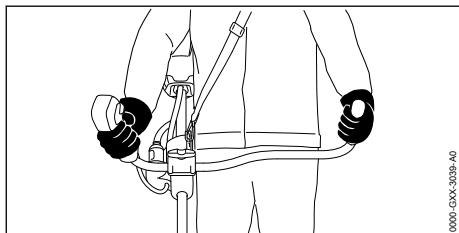
- ▶ トリガーを引いたまま保持します。カッティングアタッチメントが回転します。
- ▶ バッテリーの3個のLEDが赤色に点滅：接続ケーブルのプラグをソケットから抜き取り、STIHL サービス店にご連絡ください。刈払機が故障しています。
- ▶ トリガーとトリガーロックアウトレバーを放します。カッティングアタッチメントが停止します。
- ▶ カッティングアタッチメントが回転し続ける場合：接続ケーブルのプラグをソケットから抜き取り、STIHL サービス店にご連絡ください。刈払機が故障しています。

11 刈払機の操作

11.1 刈払機の保持と操作



- ▶ キャリングストリップ (2) をカラビナ (1) に引っ掛けます。

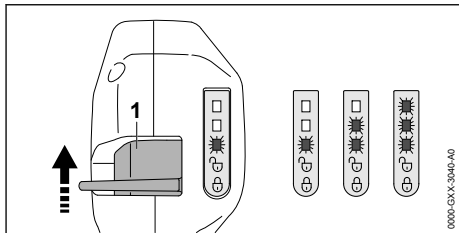


- ▶ 右手でコントロールハンドルを握り、刈払機を確実に保持します。コントロールハンドルに親指をかけてください。
- ▶ 左手で左ハンドルを握り、刈払機を保持します。ハンドルに親指をかけてください。

11.2 出力レベルの設定

3段階の出力レベルから用途に応じたレベルに設定することができます。選択された出力レベルはLEDで表示されます。出力レベルを上げると、カッティングアタッチメントの作動速度が増します。

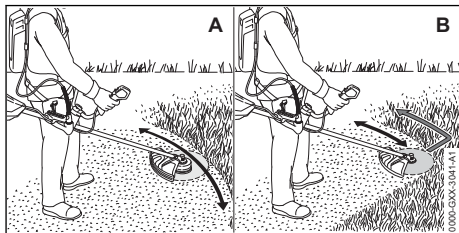
選択した出力レベルは、バッテリーの駆動時間に影響を及ぼします。出力レベルを落とすと、駆動時間は長くなります。



- ▶ 親指で保持レバー (1) を θ マークの位置まで押します。選択した出力レベルがLEDによって表示されます。
- ▶ 保持レバー (1) を前方に押します。少しの間保持して、レバーを放して跳ね戻します。この操作で次の出力レベルが選択されます。3番目の出力レベルに達した後は、最初の出力レベルに戻ります。
- ▶ 保持レバー (1) を前方に押し、跳ね戻す操作を必要な回数だけ繰り返し、希望する出力レベルを選択します。
- ▶ サーキュラソーブレードを使用している場合は、出力レベル3を選択してください。

11.3 刈払い

刈払い高さは、地面からカッティングアタッチメントまでの距離によって決まります。



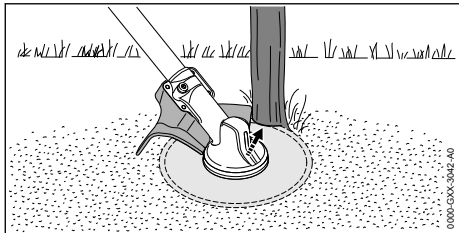
草刈ヘッドを使用した刈払い (A)

- ▶ 刈払機を左右に弧を描くように動かします。
- ▶ 制御しながらゆっくりと前進します。

草刈ブレードまたはブラッシュナイフを使用した刈払い (B)

- ▶ 金属製カッティングアタッチメントの左側で刈払いします。
- ▶ 制御しながらゆっくりと前進します。

11.4 サークュラーソーブレード使用時

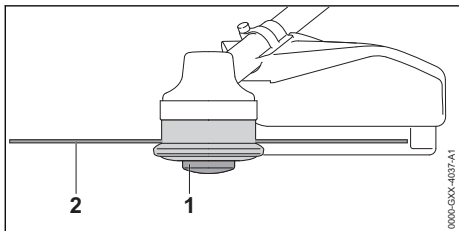


- ▶ デフレクターの左側を幹に当てます。
- ▶ 幹を最高速で切断します。
- ▶ 伐倒する樹木から最低でも 2 本分の安全距離を確保してください。

11.5 ナイロンラインの送り出し調整

11.5.1 オートカット草刈ヘッドのライン送り出し

- ▶ 回転する草刈ヘッドで地面を軽くたたきます。ナイロンラインの未使用部分が約 30 mm 送り出されます。カッピングラインは、デフレクター内側のライン制限ブレードで適切な長さに切り揃えられます。



自動送り出し機能は、カッピングラインが 25 mm よりも短いときは作動しません。

- ▶ 刈払機の電源を切り、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。
 - ▶ 草刈ヘッドのスプール (1) を押したまま保持します。
 - ▶ カッピングライン (2) を引き出します。
 - ▶ 必要な長さのカッピングライン (2) を引き出せない場合：スプール (1) またはカッピングライン (2) を交換します。
- スプールが空になっています。

11.5.2 スーパーカット草刈ヘッドのライン送り出し

カッピングラインは自動的に送り出されます。カッピングラインは、デフレクター内側のライン制限ブレードで適切な長さに切り揃えられます。

自動送り出し機能は、カッピングラインが 40 mm よりも短いときは作動しません。

- ▶ 刈払機の電源を切り、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。
 - ▶ カッピングラインを引き出します。
 - ▶ 必要な長さのカッピングラインを引き出せない場合：ナイロンラインを交換します。
- スプールが空になっています。

12 作業後

12.1 作業終了時

- ▶ 刈払機の電源を切り、保持レバーを⊖マークの位置に動かし、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。
- ▶ 刈払機が濡れている場合は、刈払機を乾かします。
- ▶ プラグをソケットに差し込みます。
- ▶ 刈払機を清掃します。
- ▶ デフレクターを掃除します。
- ▶ カッピングアタッチメントを掃除します。
- ▶ 金属製カッピングアタッチメントが装着されている場合、適合する運搬用ガードを取り付けてください。

13 運搬

13.1 刈払機の運搬

- ▶ 刈払機の電源を切り、保持レバーを⊖マークの位置に動かし、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。
- ▶ プラグをソケットに差し込みます。
- ▶ 金属製カッピングアタッチメントが装着されている場合、適合する運搬用ガードを取り付けてください。

刈払機の運搬

- ▶ 刈払機はシャフトで適切にバランスを取り、カッピングアタッチメントを後ろに向け、片手で運搬してください。

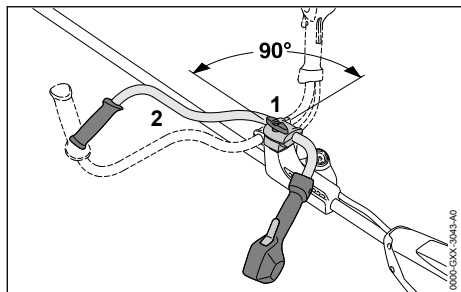
刈払機の車両輸送

- ▶ 倒れたり、ずれたりしないよう刈払機を固定してください。

14 保管

14.1 刈払機の保管

- ▶ 刈払機の電源を切り、保持レバーを⊖マークの位置に動かし、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。
- ▶ プラグをソケットに差し込みます。
- ▶ 金属製カッピングアタッチメントが装着されている場合は、運搬用ガードを取り付けてください。



- ▶ ウィングスクリュー (1) を緩め、ハンドルバー (2) が回転する状態にします。
- ▶ ハンドルバー (2) を時計回りに 90° 回転させ、下ろします。
- ▶ ウィングスクリュー (1) を確実に締め付けます。
- ▶ 刈払機の保管時は、以下の点を遵守してください：
 - 刈払機は子供の手の届かないところに保管する。
 - 刈払機を清潔で乾燥した状態にする。
- ▶ 刈払機を 30 日以上保管する場合は、カッティングアタッチメントを取り外してください。

15 清掃

15.1 刈払機の清掃

- ▶ 刈払機の電源を切り、保持レバーを⊖マークの位置に動かし、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。
- ▶ 刈払機を湿らせた布で拭きます。
- ▶ 通気口を塗装用のはけで掃除します。

15.2 デフレクターとカッティングアタッチメントの清掃

- ▶ 刈払機の電源を切り、保持レバーを⊖マークの位置に動かし、接続ケーブルのプラグをソケットから抜きます。
- ▶ デフレクターとカッティングアタッチメントは、湿らせた布または柔らかいブラシで清掃します。

16 整備

16.1 整備間隔

整備間隔は、環境と運転条件によって異なります。STIHL 社では次の間隔による整備をお勧めしています：

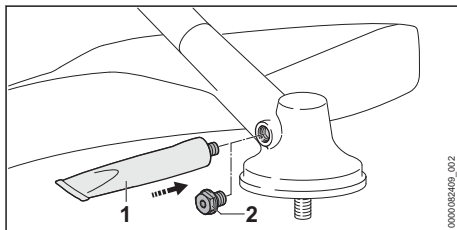
50 運転時間毎

- ▶ ギアボックスを潤滑します。

12 カ月毎

- ▶ STIHL サービス店に刈払機の点検をご依頼ください。

16.2 ギアボックスの潤滑



- ▶ スクリュープラグ (2) を取り外します。
- ▶ スクリュープラグ (2) の端にグリスが見えない場合：
 - ▶ STIHL ギアグリスのチューブ (1) をねじ込みます。
 - ▶ 5g の STIHL ギアグリスをギアハウジングに注入します。
 - ▶ STIHL ギアグリスのチューブ (1) を注入口から外します。
 - ▶ スクリュープラグ (2) を取り付け、確実に締め付けます。
 - ▶ 負荷をかけずに刈払機を 1 分間作動させます。
- STIHL ギアグリスが均等に行き渡ります。

16.3 金属製カッティングアタッチメントの目立てとバランスの取り方

金属製カッティングアタッチメントを適切に目立てし、バランスを取るには、練習を重ねる必要があります。

- STIHL 社では、金属製カッティングアタッチメントの目立てとバランス取りを STIHL サービス店に依頼されることをお勧めしています。
- ▶ 金属製カッティングアタッチメントは、同梱されている取扱説明書とパッケージに記載されている指示に従って目立てしてください。

17 修理

17.1 刈払機とカッティングアタッチメントの修理

ユーザーが刈払機とカッティングアタッチメントを修理することはできません。

- ▶ 刈払機またはカッティングアタッチメントが損傷した場合：刈払機またはカッティングアタッチメントを使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。

18 トラブルシューティング

18.1 刈払機およびバッテリーのトラブルシューティング

| 障害 | バッテリーのLED | 原因 | 対策 |
|------------------------|---------------------|---------------------------|--|
| スイッチをオンにした際に刈払機が起動しない。 | 1つのLEDが緑色で点滅する。 | バッテリーの充電レベルが低すぎます。 | ▶ 充電器 STIHL AL 101、301、301-4、500の取扱説明書の記載通りにバッテリーをフル充電してください。 |
| | 1つのLEDが赤色に点灯する。 | バッテリーの温度が高すぎるか低すぎます。 | ▶ 接続ケーブルのプラグをソケットから引き抜いてください。 ▶ バッテリーを冷ますか温めてください。 |
| | 3つのLEDが赤色に点滅する。 | 刈払機内部に障害があります。 | ▶ 接続ケーブルのプラグをソケットから引き抜き、再び差し込んでください。 ▶ 刈払機のスイッチをオンしてください。 ▶ 引き続き3つのLEDが赤色で点滅する場合：刈払機の使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。 |
| | 3つのLEDが赤色に点灯する。 | 刈払機の温度が高すぎます。 | ▶ 接続ケーブルのプラグをソケットから引き抜いてください。 ▶ 刈払機を冷ましてください。 |
| | 4つのLEDが赤色で点滅する。 | バッテリー内部に障害があります。 | ▶ 接続ケーブルのプラグをソケットから引き抜き、再び差し込んでください。 ▶ 刈払機のスイッチをオンしてください。 ▶ 引き続き4つのLEDが赤色で点滅する場合：バッテリーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。 |
| | | 刈払機とバッテリー間の電気接続が遮断されています。 | ▶ 接続ケーブルのプラグをソケットから引き抜き、再び差し込んでください。 ▶ 引き続き電源を入れても刈払機が稼働しない場合：バッテリー STIHL AR の取扱説明書または接続ケーブル付きベルトバッグ AP の取扱説明書の記載通りに、接続ケーブルの接触面を清掃してください。 |
| | 刈払機またはバッテリーが濡れています。 | ▶ 刈払機またはバッテリーを乾かしてください。 | |
| 刈払機が動作中に停止する。 | 3つのLEDが赤色に点灯する。 | 刈払機の温度が高すぎます。 | ▶ 接続ケーブルのプラグをソケットから引き抜いてください。 ▶ 刈払機を冷ましてください。 |
| | | 電気的な障害があります。 | ▶ 接続ケーブルのプラグをソケットから引き抜き、再び差し込んでください。 ▶ 引き続き動作中に刈払機の電源が切れる場合：バッテリー STIHL AR の取扱説明書または接続ケーブル付きベルトバッグ AP の取扱説明書の記載通りに、接続ケーブルの接触面を清掃してください。 ▶ 刈払機のスイッチをオンしてください。 |
| 刈払機の動作時間が短すぎる。 | | バッテリーがフル充電されていません。 | ▶ 充電器 STIHL AL 101、301、301-4、500の取扱説明書の記載通りにバッテリーをフル充電してください。 |
| | | バッテリーの耐用年数を超過しています。 | ▶ バッテリーを交換してください。 |

19 技術仕様

19.1 STIHL FSA 130 刈払機

– 承認されているバッテリー：

– STIHL AR

- STIHL AP と「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」
- 重量 (カッティングアタッチメントとデフレクターを除く)：4.5 kg
- 全長 (カッティングアタッチメントなし)：1750 mm

バッテリー寿命については、www.stihl.com/battery-life を参照してください。

19.2 音圧・音響・振動レベル

騒音の音圧レベルの K 値は、2 dB(A) です。騒音の音響出力レベルの K 値は、2 dB(A) です。振動レベルの K 値は、2 m/s² です。

STIHL 社は、イヤーマフの着用をお勧めしています。

PolyCut(ポリカット) 28-2 以外の草刈ヘッドの使用

- EN 50636-2-91 に準拠して測定した音圧レベル L_{pA} : 83 dB(A)
- EN 50636-2-91 に準拠して測定した音響出力レベル L_{WA} : 94 dB(A)
- EN 50636-2-91 に準拠して測定した振動加速度 a_{hv}
 - コントロールハンドル : 1.1 m/s²
 - 左ハンドル : 1.9 m/s²

PolyCut(ポリカット) 28-2 草刈ヘッド使用時

- EN 50636-2-91 に準拠して測定した音圧レベル L_{pA} : 84 dB(A)
- EN 50636-2-91 に準拠して測定した音響出力レベル L_{WA} : 97 dB(A)
- EN 50636-2-91 に準拠して測定した振動加速度 a_{hv}
 - コントロールハンドル : 1.1 m/s²
 - 左ハンドル : 1.9 m/s²

金属製カuttingアタッチメント使用時

- EN 50636-2-91 に準拠して測定した音圧レベル L_{pA} : 82 dB(A)

- EN 50636-2-91 に準拠して測定した音響出力レベル L_{WA} : 94 dB(A)
- EN 50636-2-91 に準拠して測定した振動加速度 a_{hv}
 - コントロールハンドル : 2.0 m/s²
 - 左ハンドル : 2.9 m/s²

上記の振動値は標準化された試験方法に従って測定されており、電動パワーツールを比較するための基準として使用することができます。用途の種類によっては、実際に発生する振動レベルは上記の値とは異なる場合があります。上記の振動レベルは、振動応力を当初に推測するために使用することができます。実際に受ける振動応力は、推定する必要があります。推定時には、電動パワーツールのスイッチがオフの時間や、スイッチがオンでも無負荷で運転されている時間も考慮に入れることがあります。

振動に関する事業者への指令 2002/44/EC の遵守に関しては、www.stihl.com/vib をご覧ください。

19.3 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation) 規制を意味します。

REACH 規定の遵守に関する詳細については、www.stihl.com/reach をご覧ください。

20 カuttingアタッチメント、デフレクター、キャリングシステムの組み合わせ

20.1 カuttingアタッチメント、デフレクター、キャリングシステムの組み合わせ

| カuttingアタッチメント | デフレクター | キャリングシステム |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> - PolyCut(ポリカット) 28-2 草刈ヘッドと 2.4 mm 径「丸形静音」ナイロンライン: - AutoCut(オートカット) 25-2 草刈ヘッド - AutoCut(オートカット) 27-2 草刈ヘッド - AutoCut(オートカット) C 26-2 草刈ヘッド - DuroCut(デュロカット) 20-2 草刈ヘッド - SuperCut(スーパーカット) 20-2 草刈ヘッド - TrimCut(トリムカット) 31-2 草刈ヘッド | <ul style="list-style-type: none"> - 草刈ヘッド用ガード - スカートとライン制限ブレード付きユニバーサルデフレクター | <ul style="list-style-type: none"> - サポートクッション付き STIHL AR バッテリー - バッテリーベルト(「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」と肩掛けベルト付属) - バッテリーベルト(ストラップ、「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」、サポートクッション付属) - キャリングシステム(「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」とサポートクッション付属) |

| カッティングアタッチメント | デフレクター | キャリングシステム |
|--|----------------------|---|
| 草刈ヘッドと 2.7 mm 径「丸形静音」ナイロンライン： - AutoCut(オートカット) 36-2 草刈ヘッド - FixCut(フィックスカット) 31-2 草刈ヘッド | | |
| - 草刈ブレード 230-2 (230 mm 径) - 草刈ブレード 230-4 (230 mm 径) - 草刈ブレード 230-8 (230 mm 径) - 草刈ブレード 250-32 (250 mm 径) - 草刈ブレード 260-2 (260 mm 径) | - スカートなしユニバーサルデフレクター | |
| - ブラシュナイフ 250-3(Ø 250 mm) | | |
| - サーキュラソーブレード 200-22(Ø 200 mm) | - リミットストップ | - サポートクッション付き STIHL AR バッテリー - キャリングシステム (「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」とサポートクッション付属) - バッテリーベルト (ストラップ、「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」、サポートクッション付属) |

キャリングシステムの名称



サポートクッション付き STIHL AR バッテリー



バッテリーベルト (「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」と肩掛けベルト付属)



バッテリーベルト (ストラップ、「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」、サポートクッション付属)



キャリングシステム (「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」とサポートクッション付属)

21 スペアパーツおよびアクセサリ

21.1 スペアパーツおよびアクセサリ



これらの記号は、STIHL 純正のスペアパーツと STIHL 純正のアクセサリに付けられています。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリの使用をお勧めしています。

STIHL 社は市場に出回っている商品を継続的に調査しておりますが、他社製スペアパーツとアクセサリの信頼性、安全性、適性を判断すること

はできません。そのため、STIHL 社はそうした部品の使用を許可しておりません。

STIHL 純正の交換部品と STIHL 純正のアクセサリは、STIHL サービス店から入手することができます。

22 廃棄

22.1 刈払機の廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。

- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

23 EC 適合証明書

23.1 STIHL FSA 130 刈払機

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstraße 115
D-71336 Waiblingen
Germany (ドイツ)

は、独占的な責任下で下記の製品が

- 製品名：バッテリー刈払機
- メーカー：STIHL
- 型式：FSA 130
- 機械番号：4867

指令 2011/65/EU、2006/42/EC、2014/30/EU および 2000/14/EC の仕様に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発/製造されたことを保証いたします：
EN 55014-1、EN 55014-2、EN 60335-1、および EN ISO 12100 (EN 50636-2-91 を考慮)。

音響出力レベルの測定値と保証値は、指令 2000/14/EC、付録 VI に準拠しています。

公認機関：VDE Prüf- u. Zertifizierungsinstitut (NB 0366), Merianstraße 28, 63069 Offenbach, Germany

- 音響出力レベル測定値：94 dB(A)
- 音響出力レベル保証値：96 dB(A)

技術資料の保管場所：ANDREAS STIHL AG & Co. KG Produktzulassung

製造年、製造国および機械番号は、刈払機の銘板に表示されています。

Waiblingen, 15.07.2021

ANDREAS STIHL AG & Co. KG



代理人

Dr. Jürgen Hoffmann, Director Product Certification & Regulatory Affairs(製品認証&規制担当ディレクター)

24 UKCA 適合宣言

24.1 STIHL FSA 130 刈払機

**UK
CA**

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Badstraße 115
D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、独占的な責任下で下記の製品が

- 製品名：バッテリー刈払機
- メーカー：STIHL
- 型式：FSA 130
- 機械番号：4867

英国の規制である指令 The Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment Regulations 2012, Supply of Machinery (Safety) Regulations 2008, Electromagnetic Compatibility Regulations 2016 と Noise Emission in the Environment by Equipment for use Outdoors Regulations 2001 の関連する条項に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発/製造されたことを保証いたします：
EN 55014-1、EN 55014-2、EN 60335-1 および EN ISO 12100 (EN 50636-2-91 を考慮)。

音響出力レベルは、測定値と確保数値共に英国の規制 Noise Emission in the Environment by Equipment for use Outdoors Regulations 2001, Schedule 9 に基づいています。

公認機関：INTERTEK Testing & Certification Ltd, Academy Place, 1-9 Brook Street, Brentwood, Essex, CM14 5NQ, United Kingdom

- 音響出力レベル測定値：94 dB(A)
- 音響出力レベル保証値：96 dB(A)

技術資料の保管場所：ANDREAS STIHL AG & Co. KG.

製造年、製造国および機械番号は、刈払機の銘板に表示されています。

Waiblingen, 15.07.2021

ANDREAS STIHL AG & Co. KG



代理人

Dr. Jürgen Hoffmann, Director Product Certification & Regulatory Affairs(製品認証&規制担当ディレクター)

www.stihl.com



0458-726-9321-A



0458-726-9321-A